

誰でも安心・簡単！

【中小企業向け】 テレワークのための ネットワーク環境構築ガイド



はじめに： コロナ禍で求められるテレワーク環境

コロナ禍により、日本のオフィスにおける働き方は、急速な変化を求められています。

3密を避けるため、大企業から中小企業に至る全ての企業で、社員を分散させて働く環境を実現しようと様々な工夫をしています。交替制を導入し勤務シフトを分散させることで密度を調整したり、出退勤の時間をオフピークとすることで満員電車による接触を軽減したりと、各社各様で対応をしています。

なかでも、**最も効果的な3密を避ける方法は、テレワーク環境の導入**といえるでしょう。テレワーク環境を実現することが出来れば、外出を最小限に抑えることができます。

しかし、テレワーク環境を整えるにあたり、特に社員のインターネット環境に頭を悩ませるシステム部門や総務のご担当者様が多くいらっしゃいます。**ネットワークのセキュリティやコストが心配**で導入に二の足を踏んでいる企業もあると思われれます。

そこで、本稿ではテレワーク環境を構築する際にネックとなる要因を検証するとともに、**誰でも簡単に費用を抑えながらテレワーク環境を構築する方法**をご紹介します。

テレワーク環境を構築したいけど、出来ない理由

「社員は毎日オフィスに出勤して業務をする」という、これまでは当たり前だった働き方が、急速に変化を求められています。一部の企業では従前よりテレワークを推奨していたところもあったかと思いますが、**コロナ禍により、ほぼ全てのオフィスでテレワーク環境下での働き方を求められるようになった**といっても過言ではないかと思えます。

しかし、**一般的にテレワーク環境を実現するのは、容易ではありません。**

一番の要因は、**ネットワークのセキュリティの問題**です。これまでセキュリティを最重要視したネットワーク環境を利用していた企業は、オフィス内に専用サーバーを設け、頑丈なセキュリティ環境を構築してきました。そのため、コロナ禍によるものとはいえ、各社員の自宅からオフィス外でのネットワークによる接続を容認するには、大きな経営判断を求められます。

さらに、セキュリティ面以外でも、テレワーク環境を実現するには足かせとなっている問題があります。**それは費用と時間の問題**です。すぐにテレワーク環境を実現しようと思っても、コストがどのくらいかかるのか、ネットワーク構築のための業者選定から始めると時間がかかるという問題が発生し、早急なテレワーク環境の構築を実現出来るのか見通しが立たない状況の企業様も多いかと思えます。

次項にてこれらの問題を検証し、早急にテレワーク環境を構築するための方法を解説します。

テレワーク環境を構築するためには

前頁では、テレワーク環境の構築実現に向けて、2つの問題を提起しました。

一つ目は「**安心できるセキュリティの構築**」、そして二つ目は「**費用と時間の見込み**」です。この章では、これら2つの問題について解説します。

まずは、セキュリティの構築に関してです。

テレワーク環境下において「安心できるセキュリティの構築」のために多く用いられているのが、VPN接続です。VPNとはVirtual Private Networkの略で、インターネット上に仮想の専用線を設け、安全なルートを確保した上で重要な情報をやり取りすることにより、盗み見や改ざんなどの脅威から大切な情報を守ることができるものです。

とはいえ、VPNの構築はITネットワークの知識や経験が豊富にある人ならともかく、この用語を初めて聞く人にとっては、非常にハードルが高いと言わざるを得ません。

また、VPN環境を実現したとしても、VPNによる社内ネットワークへのアクセスを各社員が実行したところ、始業後すぐなどの**アクセスが集中する時間にはサーバーが過負荷となり、メール一本書くのに20分かかってしまうなど、作業効率が著しく低下してしまう**新たな問題も発生しているのが現状です。

テレワーク環境を構築するためには

安心安全なVPNを実現するために、市場には様々な製品が存在します。しかし、これらの製品によって、すぐにVPN環境が構築できるわけではありません。

VPN環境構築には極めて高度なセキュリティ知識とノウハウが必要です。 社内のネットワークに適合するようにVPN機材を設定する必要があるばかりか、利用者のパソコンやスマートフォンにも設定が必要です。

さらにセキュリティは常に脅威と背中合わせであるため、VPN機材のファームウェアを定期的にアップデートする作業も必要です。

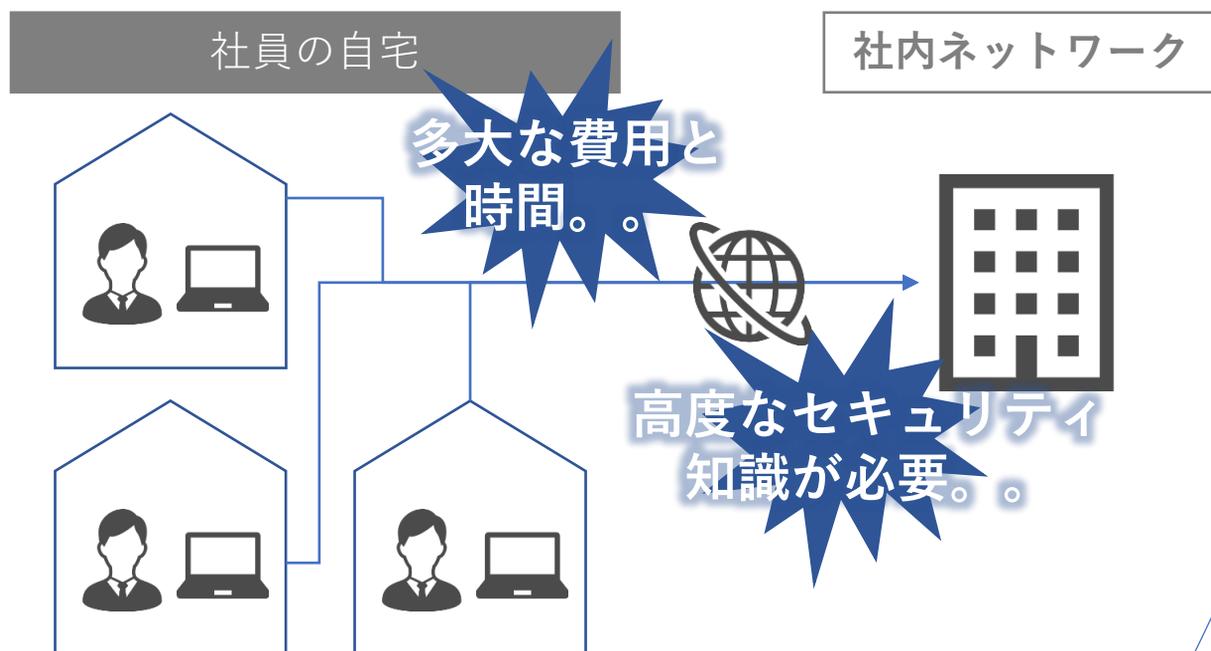
利用者からの問い合わせや定期的なアップデート作業が情シス部門への負荷を高めてしまいます。

このような事情から、VPN環境の構築に際しては、一般的には専門業者にお問い合わせする手法が主であるといえるでしょう。

テレワーク環境を構築するためには

ここで、二つ目の課題が「費用と時間の見込み」です。VPN環境を業者に依頼して構築しようとする、**見積もり取得から開始せざるを得ず**、すぐにテレワークを実現したい企業担当者にとって、やきもきした時間を過ごすこととなります。

しかし、これらの問題は「ケーブルいらず」で解決できます。次の章では、「ケーブルいらず」によるテレワーク環境の実現について、解説します。



「ケーブルいらず」が安心なテレワーク環境を実現できる理由

「ケーブルいらず」とは、特許技術取得のケーブルレスにより**設置コストを最大1/10に削減し、電源に挿して設置するだけで、いつでもどこでも快適な通信空間を実現する、業務用Wi-Fiのサブスクリプションサービス**です。この「ケーブルいらず」にテレワークパッケージ機能が追加されました。

このテレワークパッケージ機能は、**各社員の自宅に1台ずつ『ケーブルいらず』を設置すれば、オフィスの『ケーブルいらず』との間でのVPN接続が可能となる**ものです。そのため、誰でも簡単にVPN環境を構築することが出来ます。また、スプリットトンネル（※1）にも対応していますので、会社のネットワークに負荷がかかりがちなVPNの課題も解決できます。

常に最新のファームウェアへのアップデートは、「ケーブルいらず」に標準添付されるクラウド管理システムPicoManager®を介して簡単に実施できます。端末へのVPN設定は一切不要、各社員の自宅に設置した「ケーブルいらず」がその分を肩代わりしてくれます。

情シス部門は、VPN構築・運用にかかる管理負荷を「ケーブルいらず」によって大幅に軽減できるようになるでしょう。

（※1）スプリットトンネルとは、VPNトンネルを通らせる通信を指定することで、社内へのVPN通信と通常のインターネット通信とを切り替える事なく分割することにより、回線の負荷を軽減できる通信方式です。『ケーブルいらず テレワークパッケージ』においては、フルトンネルとスプリットトンネルとのモード変更を、クラウド管理システムPicoManager®から簡単に制御できます

「ケーブルいらず」が安心なテレワーク環境を実現できる理由

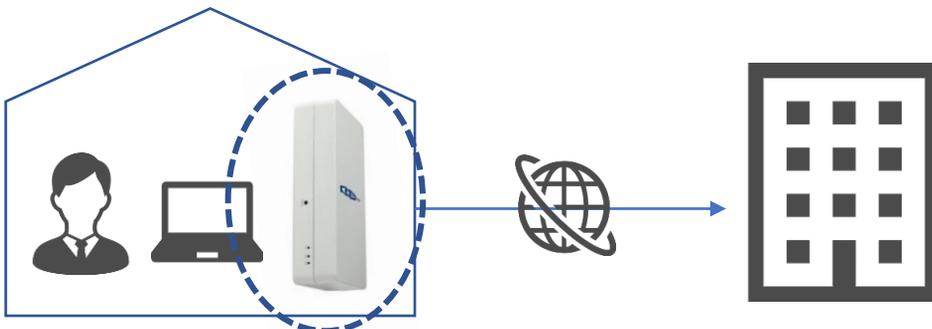
また、『テレワークパッケージ』は、**新型コロナウイルス感染拡大を受けテレワークで頑張る企業を応援するため、追加料金は無料での提供となっています。**そのため、『ケーブルいらず』の料金体系がそのまま踏襲され、初期費用0円、月額制2年タイプまたは5年タイプより選択できます。例えば1企業で50名の在宅勤務者の場合、初期費用なしで一人当たり月額3,504円（※2）でご利用頂けます。

設定も簡単で、製品到着後の設定は、『ケーブルいらず』サービスに標準装備されているクラウド管理システムPicoManager®にて簡単に行えます。オンラインマニュアルを見ながら手順通り接続すれば、ネットワーク構築が初めての方でも簡単にセットアップが可能ですので、届いたその日からVPN接続によるセキュアなテレワーク環境を構築できます。また、電話サポート（平日9時～17時）も対応しているため、安心です。

社員の自宅

社内ネットワーク

ケーブルいらずをご自宅に置くだけ！



まとめ

本資料では、テレワーク環境を構築するための、基本的な方法や抑えるべき内容をまとめました。

是非、安心できるテレワーク環境の早期構築にお役立ていただけますと幸いです。

「ケーブルいらず」へご興味を持っていただいた方は以下よりお気軽にお問い合わせいただければと思います。

テレワーク化に関するご相談や5月末までのキャンペーンなども受け付けております。

デモなどのお問い合わせはこちら